

新人職員紹介 新しい職員が入職しました!

 医師 さいとう まゆみ 水 真夕 086-424-0283 コーヒー	 診療アシスタント なかむら ひろし 中村 広一 086-254-0283 スキー 音楽鑑賞
日常生活でお困りのことがあればなんでもご相談ください。	まだまだ不慣れではありますが一生懸命頑張りますのでよろしくお願い致します。

訪問診療のあれこれをラジオ番組で放送中!!

日時 毎月第3木曜日 14:30~(10分程度)

放送局 FM ぐらしき 82.8MHz パーソナリティ 大谷 利文

「訪問診療とは?」「在宅療養を支える職種は?」「家族の負担は?」

など、在宅医療に関する話を分かりやすくお伝えする番組です!

FMぐらしきのホームページでも聴けますので、ぜひ聴いてください!

ゲストとして、つばさクリニックのスタッフ+αが月替わりで登場します!

企画・運営 エフエムぐらしき 協賛 つばさクリニック

FMぐらしき
FROM BURNLEY, GET LOCALITY

※今後の放送予定: 8月19日・9月16日・10月21日

- | | | |
|-----------|-------------------|-----------|
| 8月19日(木) | 【福祉用具について】 | 担当: 村田看護師 |
| 9月16日(木) | 【看護小規模多機能ホーム】について | 担当: 畠中看護師 |
| 10月21日(木) | 【調整中】 | |

勉強会のお知らせ 【KHM+カフェつばさオンライン】

医療・介護・福祉に係る皆様を対象とした参加無料オンラインでの勉強会です。

Kurashiki Home-care Meeting

※開催時間: 18:30~19:30

※事前にお申し込みが必要です

※参加人数に限りがあります

カフェ つばさ

詳しくはホームページ又は毎月の勉強会ご案内をご覧ください。
お気軽にご参加ください!



つばさクリニック つばさクリニック岡山

定期訪問 午前9時~午後5時 緊急往診 24時間対応

診療科目 訪問診療・内科
循環器科・呼吸器科・整形外科
〒710-0047

岡山県倉敷市大島534-1
TEL 086-424-0283
HP: www.tsubasa-clinic.net

診療科目 訪問診療・内科・小児科

〒700-0026
岡山県岡山市北区奉還町1-7-7
TEL 086-254-0283
www.tsubasa-okayama.net

つばさ新聞

理事長のコメント

日を追うごとに暑くなりますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか?暑い日が続くとコロナ対策だけでなく、熱中症対策も必要です。何かと大変な日々が続きますが、体調管理には十分にお気を付けください。

さて、6月より医療者だけでなく地域の方々への新型コロナワクチンの接種がスタートしました。当院も、地域医療に取り組む医療機関として、地域の方が一人でも多く接種できるように、在宅でのワクチン接種を実施しております。

今回接種を進めている新型コロナウイルスワクチンは、新型コロナウイルス感染症の発症を予防する、また重症化を予防する効果が期待されています。ただし、それは「絶対」を保証するものではありません。まだ当面は、継続した感染対策が必要となりますが、地域全体「One Team」として当院に出来ることを精一杯取り組んでいきたいと考えております。

(医療法人つばさ 理事長 中村 幸伸)

災害コラム

⚠️ 今年5月から避難情報が変わりました!

警戒レベル4での「避難勧告」が廃止され、「避難指示」に一本化されました。

また、警戒レベル5は、「災害発生情報」から「緊急安全確保」に変更され、直ちに安全な場所で命を守る行動をとるよう呼びかけが行われます。ただし、警戒レベル5は既に災害が発生・切迫しており命の危険がある状態であるとともに、必ず発令される情報ではないことから、警戒レベル5を待つことなく、警戒レベル4までに避難することが必要です。

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	緊急安全確保	災害発生情報 (発生を認識したときに発令)
4	避難指示	避難指示(緊急) 避難勧告
3	高齢者等避難	避難準備・高齢者等避難開始
2	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)
1	早期注意情報(気象庁)	早期注意情報(気象庁)

内閣府「新たな避難情報に関するポスター・チラシ」より

重要なポイントは、「警戒レベル3」が発令されたら、高齢の方や障がいのある方など避難に時間のかかる方やその支援者の方は危険な場所から避難し、それ以外の人も、普段の行動を見合わせたり避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難すること、といわれています。

速やかに行動に移せるよう、日ごろから「もしも」の備えに取り組みましょう!

- コロナが心配、でも、命が危なければ避難所へ
- ご近所さんの力が今こそ大切





想いでエピソード

つばさクリニック岡山 医師 逢坂隆之

つばさクリニックで働き始めて四年がたちました。今回は、退院前のカンファレンスから初回の訪問、お看取りまで、最初から最後まで関わることでできた初めてのケースのお話です。

70歳代の癌末期の男性でした。不安が強く、寂しがり屋さんだったからでしょうか、リビングの窓際にベッドが置かれて、一人になることはほとんどありませんでした。野球が好きな方で、お孫さんが外でキャッチボールをする姿を楽しそうに眺めていたそうです。

ある日、「僕の死亡診断書は誰が書くのか？」と聞かれました。医師になって初めてされた質問で多少戸惑いましたが、「僕が書きますよ」と答えると少し安心したような様子でした。不安は強いままでしたが、亡くなることに対する受容ができつつあるのかなと感じました。

その後、自宅で亡くなられ、約束通り死亡診断書を記載しました。楽しみにされていた高校野球を見ることができなかったのが残念でしたが、

ちょうど今頃の季節になると思い出すエピソードです。



在宅生活をサポートする
医療・介護サービスのご紹介

訪問リハビリ
作業療法士



倉敷中央訪問看護ステーション
訪問リハ室 室長 矢野 宏行

倉敷中央訪問看護ステーションでリハビリテーションを担当しています作業療法士の矢野と申します。当事業所は、倉敷市内の方を中心に、在宅で生活する患者さんの療養をサポートしています。

作業療法士は、日常生活動作や役割活動、余暇活動などへの支援を中心に、福祉用具の選定や住環境調整、高次脳機能障害や心の支援なども実施します。つまり、利用者さんの身体的・精神的機能の改善を目指して、代償動作(残存機能の活用)、福祉用具や自助具、環境を調整することで「出来ない」を「出来る」に変えていく支援をしている職種です。

今後も患者さんやそのご家族からの声を大事に、医師、ケアマネージャー、ヘルパー、福祉用具などの皆様の情報提供や助言を元に、その人らしい生活を取り戻す支援に繋がられるよう心がけていきます。

困ったことがあればいつでもお声かけください。

倉敷中央訪問看護ステーション

〒710-0056 岡山県倉敷市鶴形1丁目9-7 倉敷中央ケアセンター
電話番号：086-430-6706



倉敷中央訪問看護ステーション
倉敷中央ヘルプステーション



Dr. 岡田の 南極物語リターンズ



第6回：緊急手術！

今回のドーム旅行には計160kgの医療物資を持ち込みました(写真1)。医療隊員が一人しかいない中で、様々な疾病に対応できるように準備していましたが、僕自身に困ったことが起こってしまいました。機で作業していた最中、左手第2指に木片が刺さり、傷がなかなか治らず、ついには膿瘍を形成し、緊急手術が必要となったのです。自分の体に麻酔の注射するのは初めてのこと。かなり緊張を要しましたが、幸いにも左手の傷だったので右手で麻酔の注射をして、処置(皮膚切開、排膿)を行うことができました。さらに内部に残っていた小さな木片も摘出しました。「南極で初めて自分を手術した医者」という武勇伝を残したものの、医療隊員としては自らの不注意で起こした怪我に猛省しました。



(写真1)



(写真2)



食べて健康、喋って健口！ ～つばさのリハビリテーション～

言語聴覚士 妹尾 郷史

今回は病気により会話は出来ないのですが、いつもニコニコ迎えてくださるKさんへの食支援を紹介します。

リハビリを始めた当初はチョコレートを食べ過ぎて怒られることもある程甘いもの好きなKさん。しかし、進行性の疾患をお持ちのため、徐々に口から食べるのが難しくなり、現在では栄養補給は胃瘻からで、口から食べることはありません。唾液でも誤嚥してしまっている状態のため、絶飲食となっています。

それでも何か味わいたいとの強いご希望があったので、主治医と相談し、「味わう」リハビリをした後に吸引をして口の中などをきれいにすることで、体調悪化を防ぎながら、Kさんの希望を叶えられるよう取り組みました。最近では、小さい氷が出来る製氷皿でコーヒーを凍らせ、それを手で少し溶かして良いサイズにしたものをお口へ運び、味わってもらっています。肺炎を起こされることなく、楽しみを継続できています。このような医療とリハビリの連携がとれたからこそ実施できる、「味わうこと」を目的とした氷舂めも当院の強みと感じています。

当院ではこのように、もう口からは食べられないと診断された方でもご本人の意思を尊重し最大限寄り添えられるよう模索しながら取り組んでいます。

